



## 限りある資源を大切に！

### 廃棄物減量等推進員が リサイクル工場などを視察

2月8日、廃棄物減量等推進員など37人の皆さんが、関市のプラスチック製容器包装リサイクル工場、大垣市のガラス瓶リサイクル工場、岐南町の可燃ごみを積み替える施設を視察しました。

この視察研修で、ごみを分別することにより、リサイクル資源として有効に活用できることを実感し、分別の大切さを認識していただきました。

参加された皆さんは、今回の研修で学ばれたことを地域に伝え、今後のごみ減量やリサイクルに役立てていただくよう、ご協力をお願いします。

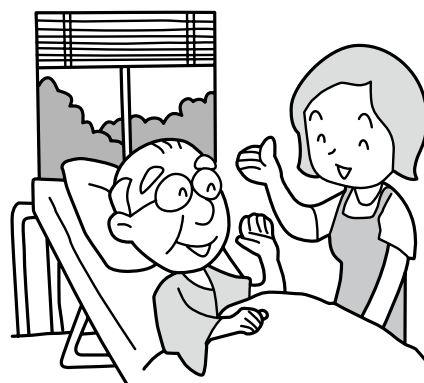


熱心に耳を傾ける参加者

## 見守り活動で安心を

### 寝たきり会員を激励（友愛訪問）

2月1日、町老人クラブ連合会女性部役員が寝たきりの会員の家庭を訪問しました。女性部役員が会員に「これからもお元気でお過ごしください」と、お見舞い品を手渡し、また介護をされているご家族の日ごろの労もねぎらいました。



### 笠松力検定にチャレンジ

2月12日、中央公民館で笠松力検定が行われました。この検定は、町の魅力を再認識していただくために平成21年から始まり、今回で8回目となります。

初級検定は4者択一50問、中級検定は4者択一25問と記述25問、上級検定は記述20問と論述1問が出題され、54人が受検しました。問題は、笠松町の自然、文化、歴史、産業、観光、行政などの各分野から出題され、皆さん真剣な表情で問題に取り組みました。

また、1月12日には笠松町の子どもたちが郷土への理解を深めるために、町内3小学校の6年生を対象とした3者択一25問のキッズ検定が行われ、受検した205人全員が合格しました。

## 笠松町の知識や 関心を深めよう



問題を解く受検者